

NEWS RELEASE

2023.3.14

「サステナビリティ経営方針」を策定しました

当社は、事業を通じて「お客様の豊かさの人生を創造すること」、「脱炭素化社会の実現に貢献すること」を目指すべく「サステナビリティ経営方針」を策定いたしました。激甚化する環境問題、変動する社会課題や企業の社会的責任の重要性の高まりに対応すべく、

- ①「世界トップクラスの省エネ住宅の提供」
- ②「高品質な“住まい”の提供」
- ③「ダイバーシティの推進」
- ④「環境負荷の低減」
- ⑤「サステナビリティ経営の実践」

を重要課題とし、それに紐づく取組内容や目標・KPIを定め、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指しております。なかでも「世界トップクラスの省エネ住宅の提供」という重要課題に対し、本日、2023年3月14日に新商品「LIZNAS ZERO（リズナス ゼロ）」を発表させていただきました。「LIZNAS ZERO（リズナス ゼロ）」は、2022年省エネ大賞最高賞を受賞した高性能スパックを取り入れた省エネ先進レベルの「ゼロエネルギー規格住宅」です。

詳細は、本日リリースしました「**「LIZNAS ZERO【リズナス ゼロ】」発表**」をご覧ください。

「サステナビリティ経営方針」の策定にあたっては、株式会社北洋銀行様（北海道札幌市、取締役頭取 安田 光春様）の「SDGsコンサルティング」を利用させていただき、SDGs経営への取組みのご支援をしていただきました。

また、株式会社北洋銀行様（北海道札幌市、取締役頭取 安田 光春様）と「ポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結し、企業活動を通じて社会課題の解決を目指してまいります。

当社は今後も、住まいに関するあらゆる課題に取り組むとともに、環境問題と事業を一体的に推進することで、脱炭素社会の実現に貢献し、カーボンニュートラルのリーディングカンパニーを目指します。

■■■株式会社北洋銀行ニュースリリース掲載■■■

SDGs コンサルティング

[20230314_074117.pdf \(hokuyobank.co.jp\)](https://www.hokuyobank.co.jp/20230314_074117.pdf)

ポジティブインパクトファイナンス

[20230314_074119.pdf \(hokuyobank.co.jp\)](https://www.hokuyobank.co.jp/20230314_074119.pdf)

株式会社 土屋ホールディングス

サステナビリティ経営方針

土屋グループは「豊かさの人生を創造する」ことを企業使命とし、住まいに関するあらゆる課題に取むとともに、環境課題と事業を一体的に推進することで、脱炭素社会の実現に貢献し、カーボンニュートラルのリーディングカンパニーを目指します。

企業理念

土屋グループの企業使命感

「豊かさの人生を創造する」



北海道の厳しい気象環境で鍛え上げられた、木の特性を活かした高断熱・高気密・高耐久の住宅建築技術を日本全国に広め、脱炭素社会の実現に貢献していく。

事業に影響を与える環境変化

環境

- 脱炭素に向けた社会変化
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化

社会

- 人口減少・少子高齢化
- 価値観やライフスタイルの変化
- 働き方改革の進展
- ローン控除・給付金・税制の変更
- 地方創生の貢献に対する重要度の高まり

経済 ガバナンス

- 循環経済への加速
- 気候変動によるサプライチェーンへの影響化
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 企業の社会的責任に対する重要度の高まり

重要課題（マテリアリティ）

取組内容

主なステークホルダー

1

世界トップクラスの
省エネ住宅の提供

- ① 高断熱・高気密・高耐久住宅の提供
- ② 環境配慮型リフォームの提供

お客さま
協力業者

2

高品質な“住まい”の提供

- ① より高度なお客さまニーズに応えるための総合不動産会社への発展
- ② 高性能を担保するための大工の養成

お客さま
協力業者

3

ダイバーシティの推進

- ① 従業員のスキルアップ支援
- ② 女性活躍支援

地域社会
従業員

4

環境負荷の低減

- ① 温室効果ガス排出量の削減
- ② 建築副産物の削減

地球環境

5

サステナビリティ経営の実践

- ① サステナビリティ経営の実践に向けた社内体制の構築

株主

サステナビリティ経営への取組み



株式会社土屋ホールディングス

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行っています。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

SDGs達成とマテリアリティへの取組み

環境

当社は、環境問題と事業を一体的に推進することが社会貢献と捉えています。

【SDGs達成に向けた具体的な取組み】

- ・住宅の全棟ZEH化に向けた取り組み
- ・営業活動におけるガソリン使用量削減
- ・カーディナルハウスベストゼロワンラインの販売
- ・段階的に社用車でEV車を導入
- ・段階的に輸入材から国産材への切替
- ・事務所の電化のLED化
- ・木造賃貸マンションLAPEACEの積極的提案



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
1	世界トップクラスの省エネ住宅の提供	高断熱・高気密・高耐久住宅の提供	2025/10期までにZEH割合を以下にする 道内：95%、道外：70% 国産材の使用率を以下にする 2025/10期：60%、2027/10期：100% 2030/10期までに木造4階建てマンションLAPEACEの受注件数を100件にする
			環境配慮型リフォーム
		環境配慮型リフォーム	環境配慮型リフォーム：2025/10期までに50件/年受注する
2	環境負荷の低減	温室効果ガス排出量の削減	2023/10期までにスコープ1,2の排出量の測定を行う
		建築副産物の削減	2023/10期までにプレカット時の端材発生率の測定を行う

社会・地域

当社は、持続可能な世界を目指し、社会からの期待に応え、企業市民としての責任を果たすために、人権を尊重し、誰もが安心して働ける環境をつくるとともに、事業を通じた社会への還元を行っています。また、持続可能な世界を目指し、地元人材の積極採用やスキー部の活動支援を通じて、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取組み】

- ・育児・介護休暇取得の推進
- ・平等な教育機会や公平な評価制度の導入
- ・資格取得奨励金制度
- ・企業内職業訓練校にて社内大工の育成
- ・年次別、職種別、階層別研修の実施
- ・「キャリアアップチャレンジ制度」の導入
- ・幹部候補生を対象にして幹部教室の実施
- ・定期健康診断の実施、生活習慣病予防健診受診を推奨
- ・女性の活躍推進
- ・有給休暇取得推奨
- ・スキー部を通じた地域の活性化、スポーツの振興



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
1	ダイバーシティの推進	従業員のスキルアップ支援	幹部育成プログラム：6回/年
			若手育成プログラム：8回/年
		女性活躍支援	2030/10期までに女性管理職（課長職以上）を30%以上にする
			男性の育児休業取得率を向上させる

経済・ガバナンス

当社は、法令遵守はもとより、経営における透明性を高めコーポレート・ガバナンスを強化することで、すべてのステークホルダーの信頼に応え、企業価値の向上を目指します。

【SDGs達成に向けた具体的な取組み】

- ・法令遵守、社内規程に則った情報開示
- ・個人情報保護の徹底
- ・コンプライアンス教育及びその啓発
- ・リスク対策委員会/リスク管理委員会の設置
- ・社会規範綱領の制定し社員にコンプライアンスカードを配布



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
1	高品質な“住まい”の提供	お客さまニーズに応えるための総合不動産企業への発展	自社売主物件における瑕疵保険付保率100%を維持する
			入居者満足度の向上のためお客さまアンケート回収率を100%にする
		高性能を担保するための大工の養成	内製大工養成を10人/年にする
2	サステナビリティ経営の実践	サステナビリティ経営の実践に向けた社内体制の構築	2024/10期までにサステナビリティ委員会を設置する
			全社員向けにSDGs関連の社内勉強会を実施する
			新入社員研修でSDGs関連の勉強会を実施する

